



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社

コード番号 7022 URL <http://www.sanovas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 多田 勤

TEL 06-4803-6171

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,454	△28.4	1,419	△36.4	1,455	△35.5	796	△24.3
25年3月期第1四半期	15,997	—	2,231	—	2,256	—	1,051	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,005百万円 (12.3%) 25年3月期第1四半期 895百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	24.43	—
25年3月期第1四半期	32.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	66,847	17,036	24.2
25年3月期	69,454	16,193	22.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 16,162百万円 25年3月期 15,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	△27.1	600	△82.4	400	△88.6	80	△95.2	2.46
通期	46,000	△22.1	900	△79.6	500	△88.6	100	△76.6	3.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	32,600,000 株	25年3月期	32,600,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	22,365 株	25年3月期	22,365 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	32,577,635 株	25年3月期1Q	32,577,638 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	10
販売及び受注の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の経済政策への期待感に加え、大規模な金融緩和策の実施に伴い円高の修正が更に進むとともに、個人消費等各種経済指標が好転の兆しを示す等緩やかに景気回復傾向となりましたが、一方で欧州経済の停滞に加え中国経済の減速懸念が台頭しつつあり、予断を許さない状況となっています。

当社グループを取り巻く事業環境は、造船事業では引続きバルクキャリアーの船腹過剰により当該海運市況が低迷していることから新造船は低船価の儘推移しており、一部底値狙いの発注が見られたものの厳しい状況が続きました。斯かる状況下、主力船型である省エネ対応のパナマックス・バルクキャリアー及びハンディケープ・バルクキャリアーに加え市場ニーズに即した新省エネ船型の開発を促進するとともに、別途、船舶技術力の向上に資するため、国内造船会社4社等で設立された共同技術研究会社である株式会社マリタイムイノベーションジャパンに参画しました。

陸上事業及びレジャー事業では民間設備投資や公共投資の増加傾向に対応し積極的な受注活動に努めるとともに、顧客ニーズに即した新商品の開発と営業に努めました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は主に造船事業の減収により前年同四半期比4,543百万円(28.4%)減少の11,454百万円となり、営業利益は前年同四半期比811百万円(36.4%)減少の1,419百万円、経常利益は前年同四半期比801百万円(35.5%)減少の1,455百万円、四半期純利益は前年同四半期比255百万円(24.3%)減少の796百万円となりました。

なお当社グループは受注産業の事業の特性から、四半期業績が年度業績に必ずしも連動いたしません。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①造船事業

新造船における船価の低迷が続く状況において、当社は約3年分の受注残高を有していることから、慎重な受注方針のもと新造船の受注はいたしませんでした。その結果当第1四半期連結会計期間末の受注残高は55,021百万円となりました。新造船の引渡しは、83千重量トン型のパナマックス・バルクキャリアー1隻であり、修繕船等を加えた当該事業の売上高はリーマンショック後に受注した新造船が売上計上となったため前年同四半期比3,760百万円(30.1%)減少の8,741百万円となりました。連れて営業利益も前年同四半期比374百万円(17.5%)減少の1,767百万円となりました。

②陸上事業

陸上事業においては顧客ニーズに対応した積極的な受注活動に努め、化粧品製造用機械製造をはじめ各事業とも着実な受注残高の増加を果たした結果、当第1四半期連結会計期間末の受注残高は2,635百万円となりました。売上高は環境工事等が前年に比し大口案件の計上がなかったこと等から前年同四半期比809百万円(33.0%)減少の1,640百万円となりました。連れて営業損益は前年同四半期比268百万円減少し67百万円の営業損失となりました。

③レジャー事業

レジャー事業においても遊園地ニーズに対応した営業活動に努め、観覧車等の受注により当第1四半期連結会計期間末の受注残高は560百万円となりました。売上高は前年同四半期比36百万円(3.8%)増加の1,007百万円となりましたが、営業損益は豪州観覧車の補修工事が悪天候の連続により工事期間が延びることが見込まれるため、保証工事引当金を223百万円追加計上したこと等から前年同四半期比149百万円減少し128百万円の営業損失となりました。

④その他の事業

ソフト開発等を行うその他の事業においては新規システムの開発、営業に注力しましたが、厳しいシステム投資環境から売上高は前年同四半期比10百万円(14.2%)減少の64百万円となり、営業損益も前年同四半期比7百万円減少し5百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,584百万円減少し、44,505百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,087百万円増加したものの、現金及び預金が4,320百万円減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて21百万円減少し、22,342百万円となりました。これは主に、投資有価証券が250百万円増加したものの、有形固定資産が246百万円、無形固定資産が39百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて3,283百万円減少し、27,981百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,176百万円、未払法人税等が704百万円、受注工事損失引当金が491百万円、保証工事引当金が470百万円、前受金が467百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて166百万円減少し、21,830百万円となりました。これは主に、長期借入金が370百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて842百万円増加し、17,036百万円となりました。これは主に、利益剰余金が633百万円、その他有価証券評価差額金が225百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期業績につきましては、造船市況を踏まえ変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,712	23,391
受取手形及び売掛金	14,821	16,908
商品及び製品	159	164
仕掛品	1,069	1,290
原材料及び貯蔵品	549	544
繰延税金資産	694	220
その他	2,103	2,010
貸倒引当金	△19	△24
流動資産合計	47,090	44,505
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	3,568	3,508
土地	5,060	5,055
その他(純額)	7,530	7,350
有形固定資産合計	16,160	15,914
無形固定資産		
ソフトウェア	587	548
その他	48	48
無形固定資産合計	636	596
投資その他の資産		
投資有価証券	4,311	4,561
長期貸付金	93	93
繰延税金資産	230	220
その他	1,178	1,181
貸倒引当金	△246	△226
投資その他の資産合計	5,567	5,831
固定資産合計	22,363	22,342
資産合計	69,454	66,847

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,388	9,212
短期借入金	7,054	7,000
1年内償還予定の社債	30	30
未払法人税等	886	181
前受金	7,210	6,743
賞与引当金	420	221
保証工事引当金	1,903	1,432
受注工事損失引当金	2,051	1,560
その他	1,318	1,599
流動負債合計	31,264	27,981
固定負債		
社債	30	15
長期借入金	15,241	14,871
退職給付引当金	4,241	4,213
役員退職慰労引当金	95	—
資産除去債務	450	416
繰延税金負債	1,730	1,950
負ののれん	58	53
その他	147	309
固定負債合計	21,996	21,830
負債合計	53,260	49,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538	2,538
資本剰余金	727	727
利益剰余金	10,999	11,632
自己株式	△5	△5
株主資本合計	14,259	14,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,068	1,293
繰延ヘッジ損益	△2	△23
その他の包括利益累計額合計	1,066	1,269
少数株主持分	867	873
純資産合計	16,193	17,036
負債純資産合計	69,454	66,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	15,997	11,454
売上原価	12,681	8,863
売上総利益	3,316	2,591
販売費及び一般管理費	1,085	1,171
営業利益	2,231	1,419
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	31	28
未払事業所税戻入益	58	—
為替差益	—	59
その他	36	54
営業外収益合計	128	147
営業外費用		
支払利息	81	83
その他	21	28
営業外費用合計	102	111
経常利益	2,256	1,455
特別利益		
固定資産売却益	1	64
特別利益合計	1	64
特別損失		
投資有価証券評価損	116	—
減損損失	16	1
固定資産除却損	7	0
固定資産売却損	0	3
特別損失合計	140	6
税金等調整前四半期純利益	2,117	1,514
法人税、住民税及び事業税	823	136
法人税等調整額	237	578
法人税等合計	1,060	715
少数株主損益調整前四半期純利益	1,056	798
少数株主利益	4	2
四半期純利益	1,051	796

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,056	798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△160	228
繰延ヘッジ損益	—	△21
その他の包括利益合計	△160	206
四半期包括利益	895	1,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	890	999
少数株主に係る四半期包括利益	4	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他の事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	造船事業	陸上事業	レジャー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,501	2,449	971	15,922	75	15,997	—	15,997
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	3	1	6	56	62	△62	—
計	12,502	2,452	972	15,928	131	16,059	△62	15,997
セグメント利益	2,142	201	20	2,364	1	2,365	△134	2,231

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、ソフトウェア開発を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額134百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用137百万円、貸倒引当金の調整額△1百万円及びセグメント間取引消去△1百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他の事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	造船事業	陸上事業	レジャー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,741	1,640	1,007	11,389	64	11,454	—	11,454
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	—	—	3	40	44	△44	—
計	8,744	1,640	1,007	11,392	105	11,498	△44	11,454
セグメント利益又は損失(△)	1,767	△67	△128	1,571	△5	1,565	△146	1,419

- (注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、ソフトウェア開発を含んでおります。
- 2 調整額は、以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額146百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用148百万円、貸倒引当金の調整額△0百万円及びセグメント間取引消去△1百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

【販売及び受注の状況】

セグメント別売上高

セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
造船事業	12,501	78.1	8,741	76.3
陸上事業	2,449	15.3	1,640	14.3
レジャー事業	971	6.1	1,007	8.8
その他の事業	75	0.5	64	0.6
合計	15,997	100.0	11,454	100.0

受注状況ならびに受注残高

セグメント	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
造船事業	606	76,305	1,006	55,021
陸上事業	1,412	2,850	2,117	2,635
レジャー事業	87	412	632	560
その他の事業	124	80	124	71
合計	2,230	79,649	3,881	58,290

(注) 当第1四半期連結会計期間末の造船事業における新造船の受注残高金額は工事進行基準で記載しており、受注残高隻数は、引渡しベースで19隻であります。